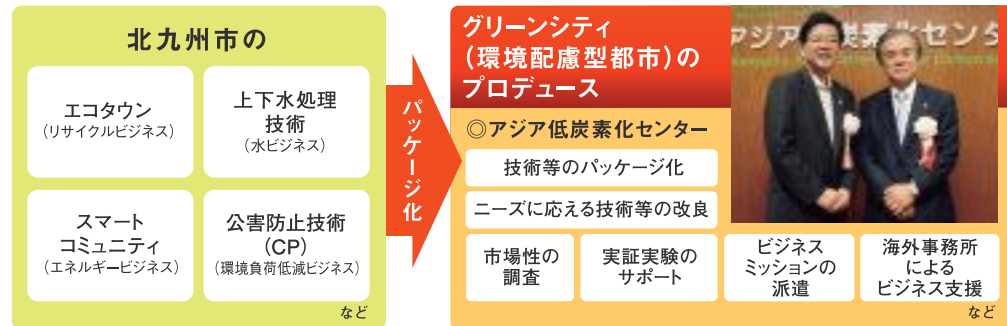


グリーンアジア国際戦略総合特区で取り組む事業

1

「アジア低炭素化センター」による パッケージを中心とした環境ビジネスのアジア展開

「アジア低炭素化センター」を核に官民が連携し、相手のニーズに応じて、都市環境インフラに係る技術やノウハウ等を組み合わせ、商品化する(パッケージ化)



◎先進的な取組事例

水ビジネス

■技術協力の経験とノウハウ

【専門家派遣】13カ国・200名以上
【研修員受入】156の国と地域・6,500名以上
【令和2年度末
現在】
漏水率が72%から8%へ改善(カンボジアでの実績)

■官民による推進母体

(北九州市海外水ビジネス推進協議会)



■国際戦略拠点を活かした マーケティング・セールス

北九州市の日明浄化センター内の「ウォータープラザ」や「ビクターセンター」を水処理等に関する人材育成・研究開発・情報発信の拠点として活用し、海外水ビジネスを支援

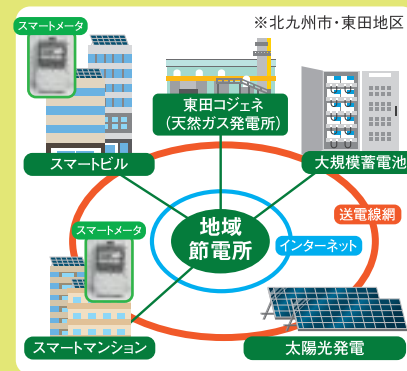


スマートコミュニティ

■北九州スマートコミュニティ創造事業 (平成24～26年度実施)

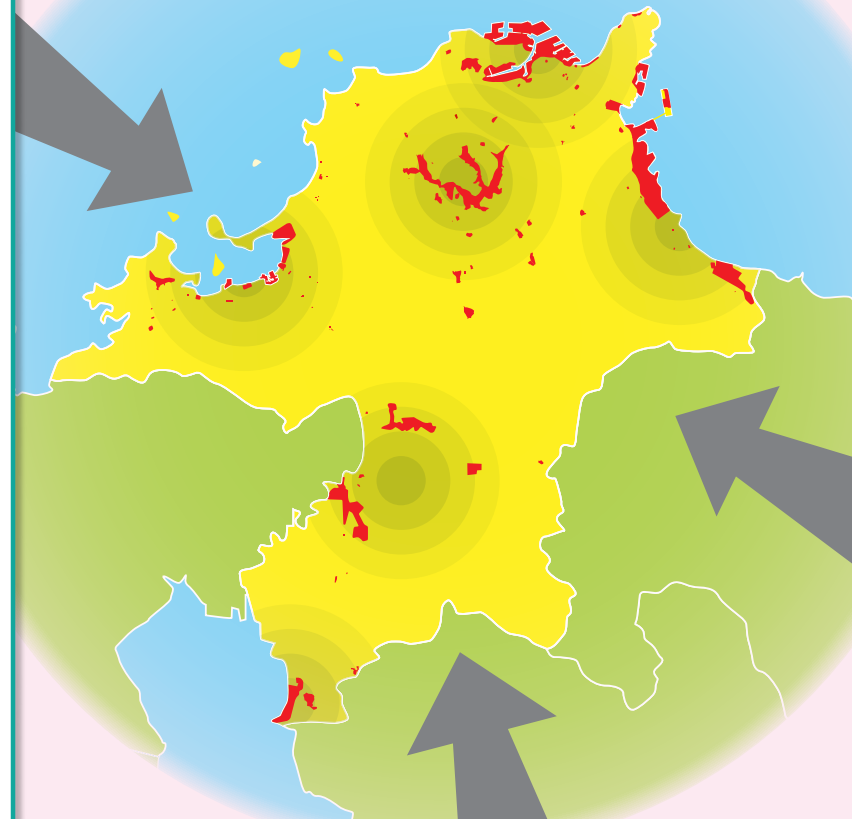


■スマートコミュニティの仕組み



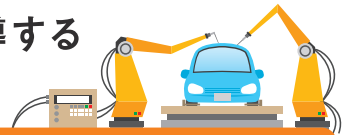
指定エリア

※平成30年12月時点 ※詳しくはお問い合わせください。



2

グリーンイノベーションを主導する 産業拠点の形成



環境性能が高い製品を開発・生産し、アジアから世界へ展開する

パワー半導体



環境対応車



次世代有機EL



産業用ロボット



風力発電装置



次世代燃料電池



環境対応車(EV、HV、低熱費自動車やその関連部品)
省エネ機器(パワー半導体、インバーターなど電力損失を低減させる製品やその関連部品)など

3

資源リサイクル等 に関する次世代拠点の形成と展開

レアメタル等の新しいリサイクル分野での技術や社会システム等を確立し、拠点化する

国内・アジアからの広域収集体制を確立



4

アジアとのネットワークを活用した シームレスなビジネス環境の実現

アジアとのネットワークを活用し、
ヒト・モノ・カネの往来を活発化させ、
環境ビジネスを中心にアジアの活力を取り込む

国境を感じさせないグリーン物流を実現

- ◎アジアとの近接性を活かした、低コスト・スピーディで環境に優しい物流サービス
- ◎鉄道とも近接する国際・国内一体のRORO船ターミナルを整備
- ◎アジアダイレクト航路が充実し、北米航路も就航するコンテナターミナル



コンテナターミナル

企業進出・技術交流を加速

- ◎アジア展開への支援
- ◎経営者交流を推進
- ◎中小企業の育成・起業支援



グリーンアジア国際戦略総合
特区で取り組む事業(国・地域
独自の支援メニューを受けられ
る事業)の詳細については、裏面
のお問い合わせ先までご連絡
ください。